

# 2022年参議院選挙に向けた 歯科医療政策アンケート

「保険で良い歯科医療を」京都連絡会は、7月の参議院選挙に京都選挙区から立候補予定を表明していた日本維新の会の楠井祐子氏、日本共産党の武山彩子氏、立憲民主党の福山哲郎氏、自由民主党の吉井章氏の4氏(五十音順)に対して、歯科医療政策アンケートを行った。その結果についてお知らせする。

## <実施要項>

このアンケートは、2022年6月9日現在で、参議院選挙京都選挙区に立候補を表明していた4氏に郵送することで実施した。回答期限を6月26日とし、郵送、ファクシミリ、Eメールでの返送を求めた。武山彩子氏と福山哲郎氏からは回答が寄せられたが、楠井祐子氏と吉井章氏からは、期日までに回答がなかった。来る参議院選挙投票日に向けて、各候補の歯科医療政策をご覧いただき、投票先を選択する参考にしていただければありがたい。

## 1、参議院選挙における政策に、歯科医療政策はありますか ①ある( ) ②ない( ) ③その他( )

| 候補者名(五十音順・敬称略) |  |  |           |
|----------------|--|--|-----------|
| 楠井 祐子(維新)      | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)  |
| 期日までに回答なし      | ①ある  | ①ある  | 期日までに回答なし |
| 期日までに回答なし      | <p>歯科医療の充実、国民の口腔の健康づくりを進めます<br/>国民の「口腔の健康」を守り、「保険でよい歯科治療」を実現するため、歯科の診療報酬の抜本的な増額と改革、歯科医療の充実に向けた支援を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍で経営が悪化している歯科医療機関、歯科技工所などへの減収補填と財政支援を行います。</li> <li>●歯科の初・再診料の水準を抜本的に引き上げ、医科・歯科間格差を是正します。</li> <li>●歯周病の治療・管理や義歯に関わる包括的・成功報酬型の診療報酬を撤廃、治療行為を適正に評価する報酬に改定します。画一的な文書提供業務の押しつけをやめさせます。</li> <li>●歯科医療への需要の高まりや、治療技術の進歩に対応し、保険治療の拡大と保険外治療の解消を図ります。</li> <li>●歯科衛生士の役割を、適正に評価する診療報酬にあらためます。</li> <li>●歯科技工士が仕事を継続でき、歯科医と連携して「よい入れ歯」を保険で給付できるよう、歯科技工物に対する診療報酬の改善を進めます。海外技工物の輸入・使用・安全性の実態を調査し、材料・作者・技工所などの基準を設けて規制を行います。</li> <li>●金銀パラジウム合金の「逆ザヤ」による歯科医療機関の経営難を解消するため、金パラ合金に関わる診療報酬の抜本的な見直しを求めます。</li> <li>●歯科健診の充実など、国民の口腔の健康をまもる取り組みを国の責任で推進します。</li> </ul> | <p>「立憲民主党政政策集2022」の歯科医療の項目より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯健康な歯を持つことができるよう、乳児から高齢者まで切れ目ない定期歯科健診の普及促進、高齢者・障がい者の地域生活を支える在宅歯科診療・障がい者歯科医療の充実を図ります。また、虐待の早期発見にもつながるよう小児歯科検診の充実に取り組みます。</li> <li>●歯科口腔保健法に基づき、口腔ケアをはじめとする生活を支える歯科医療を充実し、歯科領域でもチーム医療を推進します。</li> <li>●地域包括ケアシステムの中に口腔ケアや歯科治療を明確に位置付けます。</li> <li>●歯科技工士の賃金・労働時間等の就労環境を改善し、「製作技工に要する費用」の考え方を明確にします。歯科技工士の待遇改善のため、歯科技工指示書を処方箋化します。歯科衛生士については、健康寿命に極めて重要な口腔ケアの担い手としての働く場を拡大する等、就労環境を改善すると同時に、復職支援を進めます。</li> <li>●定期健康診断に歯科検診を組み入れます。</li> </ul> | 期日までに回答なし |

## 2、新型コロナウイルス感染症拡大への対応について

### (1) 新型コロナウイルス感染症拡大による経営危機に対し、すべての歯科医療機関・歯科技工所に減収補填を行うことについて ①賛成( ) ②反対( ) ③その他( )

| 候補者名(五十音順・敬称略)    |  |                                     |                   |
|-------------------|--|-------------------------------------|-------------------|
| 楠井 祐子(維新)         | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)                           | 吉井 章(自民)          |
| 期日までに回答なし         | ①賛成  | ①賛成                                 | 期日までに回答なし         |
| <意見><br>期日までに回答なし | <意見><br>コロナ禍に伴う受診控え・健診控え等により、すべての医療機関と同様、地域の歯科医療を支える多くの歯科医療機関・歯科技工所においても、厳しい経営が強いられている。地域で安心して歯科医療を受ける権利を守るためにも経営危機の打開が必要であり、減収補填は必要不可欠であると考えます。 | <意見><br>収入の減った全ての医療機関への経済的支援を実施すべき。 | <意見><br>期日までに回答なし |

### (2) 感染症予防のためにも口腔ケアが重要であることは、広く認識されています。歯科医療機関に対して感染防護に必要な物資の確保や、歯科医療従事者への新型コロナウイルス検査の実施など、患者が安心して歯科治療を受けられるための方策として、どのような施策が必要と考えますか

| 候補者名(五十音順・敬称略)    |  |   |                   |
|-------------------|--|---|-------------------|
| 楠井 祐子(維新)         | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)   | 吉井 章(自民)          |
| <意見><br>期日までに回答なし | <意見><br>新型コロナウイルスは飛沫やエアロゾルによって感染すると言われて いるだけに、安心して歯科医療を受けてもらうための感染防護対策が重要。感染防止に必要な資器材の確保に国が責任を持つとともに、定期・頻回のウイルス検査により、万一歯科医療従事者が感染した場合にも、迅速に対応できる体制を取る必要があると考えます。 | <意見><br>昨年9月まで実施されていた診療報酬の上乗せ特例が打ち切れ、補助金に切り替えられましたが、補助金ではなく、上乗せ特例として再実施すべき。 | <意見><br>期日までに回答なし |

3、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず  
「保険で良い歯科医療」が受けられるための施策について

国立社会保障・人口問題研究所「生活と支え合いに関する調査」(2017年実施)結果によれば、「お金がなくて歯科医師に行けない」という世帯は、全国で約160万世帯であると推計されます。  
また、高い窓口負担に加え、歯科では保険のきかない治療が歯科受診を妨げている要因にもなっています。  
その改善のために、

(1) 窓口負担割合を引き下げることについて ①賛成( ) ②反対( ) ③その他( )

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |   |  |                       |
|-----------------------|---|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)   | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| 期日までに<br>回答なし         | ①賛成   | ③その他   | 期日までに<br>回答なし         |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>貧困と格差が拡大するなか、経済的理由から歯科を受診せず、場合によっては口腔崩壊にまで至る事態が社会問題になっている。窓口負担の高さ、保険のきかない治療が原因となっていることは明らかであり、負担軽減により歯科を受診しやすくすることが必要である。将来的には、他の先進国と同じ“窓口負担ゼロ”の医療制度をめざすべきと考える。 | <意見><br>誰もが必要な医療、介護などのサービスについて、必要なときにためらうことなく、サービスが受けられるよう窓口などでの自己負担を適正化すべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

(2) 保険のきく歯科治療の範囲を広げることについて ①賛成( ) ②反対( ) ③その他( )

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |  |  |                       |
|-----------------------|--|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| 期日までに<br>回答なし         | ①賛成  | ③その他   | 期日までに<br>回答なし         |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>歯科医療においては例外的に混合診療が認められているが、需要の高まりや治療技術の進歩に応じて保険適用範囲を拡大するのは当然であり、広く用いられている治療法をいつまでも自費負担にとどめているのは問題である。安全・有効で実績のある治療法は保険給付の対象とし、保険外負担の軽減を図るべきと考える。 | <意見><br>保険のきく歯科治療の範囲は、誰もが必要な歯科医療を受けられるようにする観点と、医療保険財政に与える影響とのバランスを考慮して検討すべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

4、学校歯科健診で指摘された歯列・咬合異常について、子育て世帯が患者負担の心配なく治療できるよう、  
保険診療の拡大・公費支援の充実が必要と考えますが、どのようにお考えですか。

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |   |  |                       |
|-----------------------|---|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)   | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>歯のかみ合わせは噛む機能や正しい発音にかかわっており、学校健診に位置付けられているのも、子どもの成長・発達にとって重要な課題だからである。ところが、歯科矯正は原則保険外で高額なため、「学校健診で異常が指摘されても受診を躊躇する」という子育て世帯の声が少なくない。早期発見・早期治療という学校健診の目的に照らしても、自己負担の軽減を図るべきである。なお、京都市が独自事業で行っている学童歯対策事業が行財政改革に伴う見直し対象となっているが、小学生の虫歯対策は極めて重要であり、無料の制度を継続すべき。 | <意見><br>保険診療の拡大については、誰もが必要な歯科医療を受けられるようにする観点と、医療保険財政に与える影響とのバランスを考慮して検討すべき。また、子育て家庭などの医療費の経済的負担を軽減すべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

5、現在自治体による妊婦・母子健診、学校・自治体・事業所健診など様々な機会・分野で歯科健診が実施されています。  
また、国もライフステージごとの歯科健診を推進しようとしていますが、まだまだ不十分です。  
歯科疾患の重症化を防ぐために早期発見、早期治療を促す歯科健診を充実させるためには、  
どのような施策が必要と考えますか(対象年齢拡充、健診内容充実、負担金無しなど)。

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |  |  |                       |
|-----------------------|--|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>早期発見・早期治療による歯科疾患の重症化防止の重要性が指摘されているにもかかわらず、学校健診以外では歯科健診が義務化されておらず、実施している保険者・事業主は限られているのが現状である。成人に対する歯科健診の促進、健診内容の充実、自己負担の無料化、健診の実施主体への公的支援など、国が努力していくことが重要である。また、口腔の健康に対する国民の認識の啓発、“医者に行く時間もとれない”労働条件の改善も必要であり、地元の歯科医と協力しながらの啓発活動や、長時間労働の是正などの社会・経済の改革を進めるべきと考える。 | <意見><br>●生涯健康な歯を持つことができるように、乳児から高齢者まで切れ目ない定期歯科検診の普及促進、高齢者・障がい者の地域生活を支える在宅歯科診療・障がい者歯科医療の充実を図るべき。また、虐待の早期発見にもつながるよう小児歯科検診の充実も図るべき。<br>●歯科口腔保健法に基づき、口腔ケアをはじめとする生活を支える歯科医療を充実し、歯科領域でもチーム医療を推進すべき。<br>●定期健康診断に歯科検診を組み入れるべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

6、超高齢社会をむかえ、専門的口腔ケアの担い手である歯科衛生士の役割はますます重要になっています。しかし、就業率は7割※という状況で、慢性的な歯科衛生士不足となっています。診療報酬の評価が低いために、歯科診療所で歯科衛生士が雇用できない状況が広がっています。その打開のために、どのような施策が必要と考えますか。  
(※「歯科衛生士及び歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究」(2019年))

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |  |  |                       |
|-----------------------|--|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>口で咀嚼して食べ続けられるようにすることは、高齢者の全身状態の改善や肺炎防止に効果があり、超高齢社会のなかで、専門的口腔ケアの担い手である歯科衛生士の役割はますます重要となっている。歯科診療所が歯科衛生士を雇えるよう、歯科診療報酬全体を抜本的に増額するとともに、歯科衛生士の専門的な技能・労働を正当に評価する報酬体系へと見直す必要がある。あわせて、高齢化による歯科需要の増大に対応できるよう、歯科医療・口腔ケアの専門職の確保について国が計画を持ち、病院・施設・事業所なども含めた歯科衛生士の配置に対して公的支援を行なうべきと考える。 | <意見><br>歯科衛生士が健康寿命に極めて重要な口腔ケアの担い手としての働く場を拡大する等、就労環境を改善すると同時に、復職支援を進めるべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

7、技工料が安いために低賃金・長時間労働を強いられ、離職する若い歯科技工士も増えています。また、歯科技工士養成学校の志願者が激減し、定員割れや廃校が急速に広がっています。歯科技工士の技術と労働を適正に評価するために、(1)補てつ関連の抜本的な点数の引き上げ、(2)労働時間と原価計算に基づいた製作技工・保険点数の決定プロセスの確立、(3)歯科技工士に適切な技術料(委託技工料)が渡るような実効性ある取引ルールの確立が必要と考えますが、どのようにお考えですか。

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |  |   |                       |
|-----------------------|--|---|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)   | 吉井 章(自民)              |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>低すぎる診療報酬による歯科診療所の経営難、歯科技工士の技術・労働に対する低評価など、歯科医療をめぐるさまざまな矛盾が歯科技工士に集中し、仕事への意欲や誇りを奪っているのは由々しき事態である。歯科技工士が安心して仕事を継続でき、歯科医と協力して「良い入れ歯」を保険で提供できるよう、歯科技工物に対する診療報酬の改善を進めるべきである。具体的には、低すぎる補てつ関連の報酬を抜本的に引き上げること、労働時間と原価計算に基づいて製作技工・保険点数を決定するプロセスを確立し、歯科技工士の技能と労働を正当に評価する報酬への見直しを進めること、歯科技工士に適切な技術料が支払われるような取引ルールの確立すること、海外技工物を規制するとともに国内技工物にかかわる報酬を引き上げること、などが必要と考える。 | <意見><br>歯科技工士の賃金・労働時間等の就労環境を改善し、製作技工に要する費用の考え方を明確にすべき。歯科技工士の待遇改善のため、歯科技工指示書を処方箋化するべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

8、歯の治療で、かぶせもの等として使われる「歯科鑄造用金銀パラジウム合金(金パラ)」の価格高騰と市場実勢価格に追いつかない保険診療の告示価格によって、歯科医療機関は「逆ザヤ」問題(治療するたびに歯科医療機関の赤字が生じる)に苦しんでいます。この「逆ザヤ」問題解消のためにどのような施策が必要と考えますか。

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |  |  |                       |
|-----------------------|--|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)  | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>歯科治療に欠かせない金属材料(金パラ)の価格が高騰を続け、治療するたびに赤字が生じる「逆ザヤ」の状況が長期化している問題は、歯科医療機関の健全な経営を守るうえでの緊急課題となっている。原材料価格の変動に対応して告示価格を調整する随時改定も、価格の参照時期から改定実施までタイムラグがある、価格の変動率が一定未満であれば改定が実施されず価格乖離の長期化が起こる、市場実勢価格ではなく机上の試算価格に基づくものとなっているなどの問題があり、「逆ザヤ」を解消するものとはなっていない。これらの問題を是正して、金パラの市場実勢価格を定期的に把握し、適切に告示価格に反映させる仕組みをつくるべきである。 | <意見><br>歯科医療機関の経営に与えている影響や金パラの価格高騰を踏まえ、安定的な経営ができるようにする観点から、価格改定制度のあり方について検討していくべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |

9、経済財政諮問会議の「骨太方針」でも5年連続で歯科医療の充実等が記述されています。そのためにも、診療報酬の大幅な引き上げや歯科口腔保健関連予算の増額など、経済・財政的な裏付けが必要だと考えますが、どのようにお考えですか。

| 候補者名(五十音順・敬称略)        |   |  |                       |
|-----------------------|---|--|-----------------------|
| 楠井 祐子(維新)             | 武山 彩子(共産)   | 福山 哲郎(立憲)  | 吉井 章(自民)              |
| <意見><br>期日までに<br>回答なし | <意見><br>口腔の状態の改善が、全身の健康状態の改善、認知症の予防などに大きく貢献することが明らかとなっているにもかかわらず、歯科医療費の伸びは、総医療費の伸びに比べても低く抑えられており、国民医療費に占める歯科診療の割合は7%程度にまで落ち込んでいる。新しい技術がなかなか保険適用されないなどの状況を改善し、誰もが金銭の心配なく歯科医療を受けられるようにするためにも、これまでの医療費抑制政策の転換が必要である。その財源については、大企業優遇や証券税制を是正し、大企業や富裕層に応分の負担を求めるべきである。 | <意見><br>誰もが必要な医療を受けられるよう、医療の技術等を評価する観点から、診療報酬の引き上げに取り組むべき。 | <意見><br>期日までに<br>回答なし |